

公表:令和 2年 4月 1日

事業所名

キッズサポート

令和2年度分

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習スペースとフリースペースは仕切りを上手く使い分けが来ている。定期的に配置変更も含めて柔軟に対応していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		継続していきます。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動内容をホワイトボードにスケジュールを記入し、子供へ周知している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		空気清浄機やスタンド型の室内除菌を設置している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝礼や終礼で活動プログラムについて、話し合いをしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的に保護者の方に評価を頂き、改善を行っています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		必要に応じて今後行います。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修や施設内研修を行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		継続していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを使用し、見やすく分けけている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		アセスメントを元に優先順位を付け、長期、短期目標を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		全体で共有し、理解を深めている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全員で活動プログラムを立案、作成をしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		継続していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子供の特性などを踏まえて行っている。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	朝礼の際、一日の業務内容を職員間で共有している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	終礼で一日の出来事を話し合い書面に記載し、保管している。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	連絡帳に記入している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	6か月事にモニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	担当者会議には児発管が参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	送迎時に口頭で情報共有していき、その他にも電話で確認等を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	連携した支援がまだ行えていない為、関係機関と連絡を取り合うようにしていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	連絡先の把握はしているが、連携はまだしていない為、連絡をとるようにする。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	送迎時に口頭で情報共有するなど、相互理解をしている。これからも必要に応じて行っていき、支援を行います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	現段階ではそのような児童がいないため、必要な際には情報提供が出来るようにしていく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	継続していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	参加出来ていない為、イベントを通じて参加出来るようにしていく。
	㉙	(地域自立支援連絡)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	参加出来る際は参加するようにしている。今後も参加できるようスタッフの人数調整を行っていく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時に日々の様子を伝えるようにしている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	3ヶ月に一度保護者会を行っている。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に詳しく説明を行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○	個別支援計画を作成し、その内容を説明し同意を得ている。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	送迎時に時間を設けたり、連絡帳を通じて行っている。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		専門の講師を招き、3か月に一度保護者会を行っている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		電話やラインなどを通じて適切に対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		SNSを活用し、活動内容を発信している。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報取り扱いに承諾して頂き、カギ付きの書庫で保管している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭や文面など状況に合わせた対応をしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	個人情報を守る点で開かれる活動は見送らせてもらっている。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度、防災訓練を取り入れている。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に詳しい説明を保護者様からお聞きしている。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		継続していきます。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例を共有し振り返りが出来るよう書面で保管している。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に積極的に参加している。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		児童や保護者の方に安心して頂くために十分配慮をしている。

- この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センターまたは児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。